

学校評価だより 1

和みの学び舎 東玉川小学校 学校評価委員会 事務局

コミュニティスクール（地域運営学校）！ ～地域とともにある学校～

東玉川小学校は、平成17年に地域運営学校推進校に選ばれた。日本でも**ほぼ最初に地域運営学校としての歩みを始めた**学校です。平成28年には、これまでに取り組んだ本校始め多くの取り組みを元にして、世田谷区（全小中学校）、青森県（十和田市）、石川県（かほく市）、山口県（全小中学校）など、417校増の2806校が文部科学省の指定を受けて取り組んでいます。平成28年度からは、**学校支援地域本部の機能も備え**、今年度も引き続き、地域、保護者の方々と学校が連携してよりよい教育活動を進めています。

「和みの学び舎」で 小・中学校の連携

世田谷区は、小学校中学校で様々な連携をしています。その一つが「学び舎」です。地域ごとにいくつかの小・中学校でグループを組み、児童生徒の継続した指導や、学習指導等の共通理解、指導の徹底、スムーズな接続を見越した連携授業を行っています。



生活指導に力を入れています。

児童の規範意識や、マナー・モラルの低下が社会問題となっています。本校では、児童の学習規律や道徳心を向上させるために様々な取り組みをしています。

★**和みの学び舎ミニマム**…奥沢小学校、奥沢中学校と同じ目標やめあてを設定しています。今年度は「あいさつや返事、ていねいなことばづかいを進んでする」を**重点目標**として、子どもたちに他者意識や自分事として考えることを徹底させていきます。

★毎週の目標を守れるよう教職員が連携して取り組んでいます。挨拶、思いやり、責任、基本的な生活習慣等、多岐にわたっています。ひがたまの子どもたちは、**規範意識の高まり**で、**問題行動の減少**が見られます。

キャリア教育

そもそもなぜキャリア教育が必要とされているのか？

本校だけではなく、世田谷区の小学校に通う児童の意識調査の傾向から、「学校の勉強で身に付けた知識や思考力などは、将来につながっている」ことや「自ら社会に参画していくとする意識」が低いことがわかっています。子どもたちの学びは、生涯にわたって継続していくものですが、それを自覚することが希薄ではないかということから、学校の教育活動の全てが子どもたち一人一人の将来に密接に関わっていることを実感し、自分の生き方を見つめてほしいという願いから力を入れています。

「キャリア・未来デザイン教育」とは…

子どもたちが社会や環境の変化などにも対応する力からや、自分の生き方をイメージし、なりたい自分に近づく力を身に付けるための教育です。国語や算数のような教科とともに子どもたちの生活の中で培っていきます。

キャリアパスポートの活用

→自らの学習状況やキャリア形成の見通し、振り返りを通じた自己の変容や成長への気付きを促します。

キャリア教育で目指す4つの能力【社会的・職業的自立に向けた必要な能力・態度】

①【人間関係形成・社会形成能力】

→友達の良いところを見付ける力、お互いを大切にする力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップなど

②【自己理解・自己管理能力】

→自分の役割の理解、自分の良さに気付く力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、すすんで学ぼうとする力など

③【課題対応能力】

→情報の理解・選択・処理、さまざまな課題を発見したり、解決したりするための力や態度など

④【キャリアプランニング能力】

→学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来について考える力など

心ことばの学習（SST）

本校では、児童の対人関係やコミュニケーションスキルの向上を目指し、平成23年度より、系統的にソーシャルスキルトレーニング（SST）の取組を学び舎で連携して実施しています。年間を通して、あいさつ、伝える、聞く、ストレス、ルールと協力の5項目について全学級で実施しています。心の健康や情報モラルについても取り入れています。

学校協議会とは…

本校の学校協議会は、主に学校・地域の防災を担ってくださっています。

例えば**避難所運営委員として、もしもの時のための準備**等を行っています。30年以内に80%の可能性で大震災が起こるかもしれないと言われていることもあります。地域の安全を**主体的に**担ってくださっています。



東玉川小学校ウェブサイトに情報を掲載中！

<http://school.setagaya.ed.jp/higa/>

または、「世田谷 東玉川小」で検索してください。アクセスをお待ちしております。

